

あいのて

平成25年3月15日発行

発行：京築教育事務所

人権・同和教育室
(TEL：0979-83-3602)

タイトル「あいのて」は、がんばっている人には絶妙のタイミングで“合いの手”を入れる、困った人には“愛の手”を差し伸べることができる、そんな人権・同和教育室でありたいと願ってネーミングしました。

はじめに

2月19日（火）に社会教育総合センターで第3回福岡県人権教育研修会がおこなわれました。（第3回は社会教育関係で、学校関係者は希望参加となっています。）午後からの分散会では、様々な個別の人権課題についての報告、協議がおこなわれ、多くのことを学ぶ場となりました。

そこで、今回の“あいのて”では、研修会の分散会の内容を紹介するとともに、本年度実施しました人権教育推進状況調査を基に、校内研修における個別の人権課題の実施状況をお知らせします。来年度の研修会日程も掲載していますので、来年度の研修計画等にお役立てください。

また、最終ページには、授業で身につけたい「授業コミュニケーション力」についての連載をしています。キーワードは「はりとツボが効く」です。是非、ご一読ください。

平成25年度人権教育関係研修会等日程

平成25年度の人権教育関係研修会の日程をお知らせします。年間行事計画等にご活用ください。

●京築教育事務所人権・同和教育室主管研修会

平成25年 6月14日 (金)	14:00 ～ 16:45	校長・人権教育担当者等 合同研修会	みやこ町 豊津 公民館	○説明「人権教育の視点からの学校づくり」 ○実践報告「本校の人権教育の実際」 ○講話「今後の人権教育の推進の在り方」(仮)
平成25年 8月1日 (木)	10:00 ～ 12:00	校長人権教育研修会	京築教育 事務所	○説明「管内における人権教育の推進について」 ○講話「人権尊重の学校づくりに向けた校内推進体制の確立について」(仮)
平成25年 8月2日 (金)	10:00 ～ 12:00	教頭人権教育研修会	京築教育 事務所	○説明「管内における人権教育の推進について」 ○講話「人権尊重の学校づくりに向けた教頭の役割」(仮)
平成25年 12月4日 (水)	13:50 ～ 16:40	人権教育担当者等研修会	京築教育 事務所	○演習「人権教育推進計画作成のポイント」 ○実践発表「本校の人権教育の取組」 ○協議「本校の人権教育の成果と課題」

●県人権教育研修会

平成25年 7月26日 (金)	1日開催	第1回 福岡県人権教育研修会 (人権尊重精神の育成)	福岡 市民会館	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※各校より1名以上の参加
平成25年 8月23日 (金)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障1)	福岡 市民会館	○全体講演 ※各校より1名以上の参加
平成25年 11月8日 (金)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障2)	行橋市立 今元 中学校	○研究発表会と同時開催 ・授業公開、研究発表、講演 ※各校より1名以上の参加
平成26年 2月25日 (火)	1日開催	第3回 福岡県人権教育研修会 (社会教育)	未定	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※各校より希望参加

第3回福岡県人権教育研修会(平成25年2月19日)

福岡県では、様々な人権課題の解決を目指し、学校教育と同様に、社会教育からも、「効果的な指導方法の在り方」、「人権教育・啓発事業の在り方」、「連携・協働の在り方」などについての研修会を毎年行っています。今年度も、2月19日(火)、『人権課題の解決を目指して、地域の教育力の向上を図る～安心や展望を見出すつどいや学びの場をとおして』というテーマで第3回福岡県人権教育研修会が行われました。日程及び内容は、次のとおりです。

☆ 全体会 10:10~12:00

講演 「インターネットと人権～生きづらさや孤立を背景に～」ジャーナリスト 渋井哲也

☆ 分散会 13:00~15:40(各分散会ともパネルディスカッション)

○A分散会:【テーマ】「学びの場の成果を地域の啓発につなげていく取組から」

筑紫野市・小郡市の取組から、行政と地域住民が協働し、地域の人権を課題解決に地域住民が主体的に関わる実践例に学び、地域の教育力向上を図りました。

○B分散会:【テーマ】性的マイノリティの理解とその支援について

性的マイノリティへの理解と支援を図るために、当事者、家族及び支援者によるパネルディスカッションと参加者の交流活動を通して、学びを深めていきました。

○C分散会:【テーマ】社会の中で孤立しがちな若者への支援について

貧困・虐待・引きこもり・非行などで行き場や居場所を失った若者への学習や就労への支援を行っている団体の取組を通して、若者自身に自他への信頼感や将来への展望を持たせるための支援のあり方について考えました。

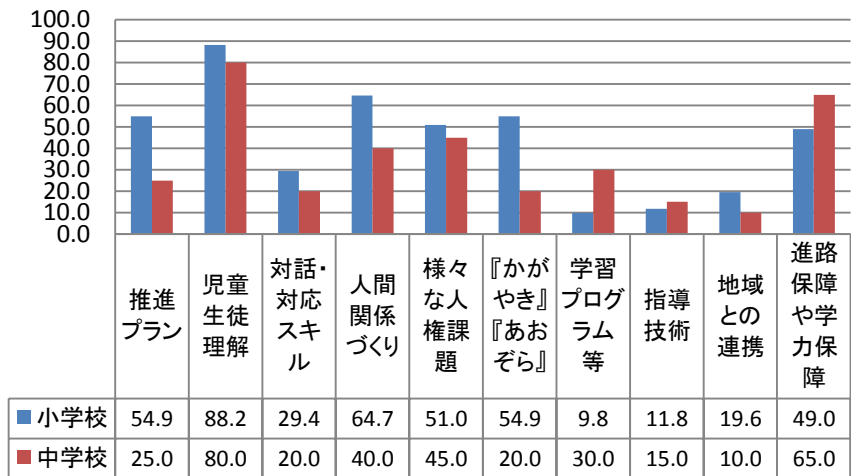
県下から253名の関係者が参加されましたが、そのうちの60名(京築管内は3名)は学校教職員でした。地域や学校の課題を解決していくためには学校教育、社会教育の連携が一層重要になっています。今後も学校関係者の多くの参加をお待ちしています。

平成24年度人権教育推進状況調査結果より

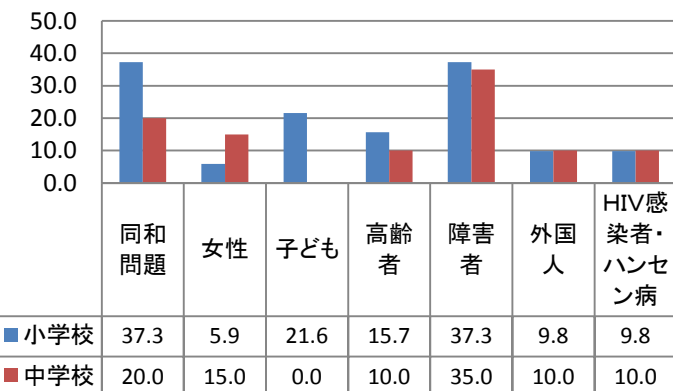
右の表は平成24年度人権教育推進状況調査結果「校内研修の内容」の項目です。

小学校では「児童生徒理解」「人間関係づくり」の項目、中学校では「児童生徒理解」「進路保障や学力保障」の項目の数値が高くなっています。反面、「学習プログラム等」「指導技術」の項目は低い数値となっています。しかしながら、別の質問で“児童生徒への指導などの取組の中で、特に重点を置きたいところ”と聞いたところ「児童生徒に自己存在感や肯定的自己イメージを持たせる」が小学校で68.6%、中学校で80.0%という回答でした。自己存在感や自己肯定感は、日々の授業の中で強く育成されます。そのために、人権が尊重される学習プログラムや指導技術の研修を、是非、校内研修で企画してください。

校内研修の内容



人権課題についての研修内容



次に気になるポイントは、「対話・対応スキル」です。いくつかの要請研修で「どんな研修を希望するか」とアンケートをとったところ、この「対話、対応スキル」の項目が高いという結果がでています。(特に若年教員が希望)この“あいので”でも4ページ目に、教師が身につけたい『授業の力』を連載していきます。各校でも「対話・対応スキル」に関する校内研修を計画してください。

最後に、「様々な人権課題」の項目の内訳を見てみますと、人権課題についての研修内容に偏りがみられます。様々な人権課題を学べるよう計画的・系統的な研修計画が望まれます。

さらに、部落史については教科書の記述が私たちが学習した内容と変わっており、障害者問題については合理的配慮の考えが求められています。他にも、児童虐待、デートDV、性的少数者、ホームレスなど、新たな知識を習得する校内研修が必要となっています。これらのことも踏まえながら、校内研修のさらなる充実をお願いします。

人権・同和教育室は様々な研修の要請にお応えしています！

人権・同和教育室では様々な研修の要請にお応えしています。
来年度の校内研修で、是非人権教育関係の研修をおこなってください。



日程の都合により、お受けできない場合もありますので、できるだけ早い時期に、ご要請ください。

● 「福岡県人権教育推進プラン」「人権教育の指導方法の在り方について【第三次とりまとめ】」に関する研修

学校での人権教育推進の基本的な考え方を、法令との関係も踏まえ学習していきます。どのような個別的な人権課題があるかなど、人権教育全般を学ぶ研修です。若年教師が多い学校は、是非、年間研修計画に盛り込んで下さい。

● 部落の歴史に関する研修等

部落史については研究が進み、江戸時代の身分制度等、教科書の内容も変わっています。教科書変化の変遷や、江戸時代の身分制度、中世の「ケガシ意識」の内容や、社会科における部落史学習の進め方等について研修を進めます。

また、その他の個別的な人権課題についての研修もおこなっています。

● 「人権が尊重される授業づくり10の視点」の活用に向けた、体験的参加型の研修

日頃の授業の中には、たくさんの人権の視点があります。どの場面でどのような「人権教育を通じて育てたい資質・能力」が育っているのかを、授業指導案例を基にKJ法でのグループディスカッションを行いながら研修を進めていきます。

● PTA向けの研修

子どもへの接し方を体験的参加型で振り返っていく研修です。話を聞くときの「傾聴」の方法、話すときは「私メッセージ」で伝えること、良い「ほめ方、叱り方」について等を学習していきます。毎回大変好評な研修会となっています。

「人権が尊重される環境づくり10の視点」ができました！

人権・同和教育室では日々の授業での人権感覚育成のために「人権が尊重される授業づくり10の視点」の活用を推進していますが、この度、「人権が尊重される環境づくり10の視点」ができあがりました。作成にあたっては、京築教育事務所管内各市町の人権教育担当者代表と検討を重ねてきました。この10の視点も、「具体的に評価できる」「簡単にできる」ことを意図して作成されています。人権教育の視点を日頃の学校生活の中に取り入れ、継続的な取組をおこなうために活用して頂ければと考えています。

人権が尊重される環境づくり10の視点

～日常を振り返り、〇×チェックをしてみましょう～



- ① 児童生徒の作品を大切に、教室や校内に掲示していますか。
- ② 学級目標は児童生徒とつくり、定期的に振り返っていますか。
- ③ 人権コーナーがつくられ、人権意識を高めることにつながっていますか。
- ④ 教室内が整理・整頓されていますか。
- ⑤ 安心してすごせる児童生徒の仲間づくりに取り組んでいますか。
- ⑥ 教師から率先してあいさつをしていますか。
- ⑦ 毎日、児童生徒と積極的に会話をしていますか。
- ⑧ 複数の教師で児童生徒にかかわっていますか。
- ⑨ 校内の危険な箇所を把握していますか。
- ⑩ 児童生徒の学校での様子を具体的に家庭に届けていますか。

リーフレットは来年度の研修会や要請研修等で配付していきます。必要な方は事務所へご連絡ください。



学校や学級、地域で行われる学習会など、学習の場そのものの在り方が人権が尊重される雰囲気や環境でなければ、教育活動は十分な効果をあげることにはできません。

学習者は、人権についての知識や技能を学ぶだけでなく、人権が大切にされた雰囲気や環境のなかで学ぶ心地よさを経験することによって、人権の大切さを実感するようになります。このような「隠れたカリキュラム」（教育する側が教えようと意図する、しないに関わらず、学習者がその内容や方法以外に、場の雰囲気や環境から多くのことを学びとること）が学習者に大きな影響を与えていることを認識することが重要です。

左の漫画を見て下さい。「子どものつぶやきや発言をうまく取り上げられず、授業の進行に困ってしまった・・・」おそらく誰にでもある経験ではないでしょうか。自分が考えてきた流れや指導案にそって発問しても、なかなか自分の思うように授業は展開できません。なぜなら、子どもは一人一人様々な感情を持ち、思いがけない動きや発言をしますからです。では、そんな子どもたちとうまくコミュニケーションをとるためにどのような手立てが必要なのでしょう。

このコーナーでは「きく・みる・話す」について考えていきたいと思っています。「きく」「みる」「話す」は、人間の言語活動の中で最も基本的なコミュニケーションです。しかし、ちょっと教師が意識を変えるだけで子どもに変化が表れるのです。今回は「きく」について紹介します。

きく

授業では、子どもに「しっかり聞いてますよ」「興味深い意見ですね」という教師からのメッセージを送ることが大切です。

キーワードは「はりとツボが効く」です。

「は」はハートの「は」 「り」はリターン
「ツ」はつっこみの「つ」 「ボ」はボディの「ボ」のことです。
さて、「きく」には、いろいろな漢字があります。

聴く・・・身を入れてきく 聞く・・・人の言葉を受け入れて認識する
訊く・・・たずねる 利く・・・役に立つ 効く・・・効き目や効果がある

この漢字に先ほどのキーワードを当てはめて考えてみましょう。

「はりとツボが効く」
キーワードは

【ハートで聴く】

子どもの意見を受け入れ、最後までそのまま素直に聴くワザです。注意点は三つ。聴いているときは絶対に話さないこと。子どもの話を遮らないこと。すぐ違うと言わないこと。漫画の先生は、子どもの意見を否定的に返しています。ハートでじっくり身を入れて聴いてあげることが大切です。

【リターンしながら聞く】

人の言葉を受け入れ認識する、つまり、あいづちや繰り返しのせるワザです。リターンすることで子どもが安心感を持ち、つぶやきを促進させることができます。そのためには、場にあった合いの手やタイミングの良いあいづち、「いいねいいね」とほめるヨイショ、言葉の繰り返しなどが有効です。「そうなんだ」「なるほど」「たしかに」、略して「あいづちソナタ」です。漫画の先生も「あいづちソナタ」をすれば、少し状況が変わったかもしれません。

【ボディが利く】

態度や姿勢、視線で子どもに「聞いていますよ」と伝えるワザです。とにかく体で大きさに反応しましょう。うなずく、子どもの方を向く、子どもの意見を板書する、などが有効です。特に子どもの方を向くときは「目」と「へそ」を向け、「目できく」「へそできく」を心がけましょう。体を動かすことで、子どもは視覚的に「聞いてくれているんだな」という安心感をもち発言できるようになります。自分の体を大いに役立ててください。

【つっこみながら訊く】

子どもの発言をききながら、いい質問や発問でもっと話してもらおうワザです。「ボケ」と「つっこみ」で笑いをとるお笑いの世界の「つっこみ」を参考にして教師用にアレンジしてみましょう。つっこむ（たずねる）ことでさらに発言が増え、授業が活性化されることを期待します。

- つっこむ・・・常識から見ておかしなことを笑顔で訂正する。
- 振る・・・いいネタや話題、質問を振る。
- 捨てる・・・子どもが言ったことを流さず、捨てつなげていく。
- ふくらます・・・子どもの発言に対してさらにのる。

